

# 日本地球電気磁気学会会報 (第3号)

1962年11月5日

## 日本地球電気磁気学会

事務所：東京都文京区弥生町3  
東京大学理学部地球物理学教室内  
電話(812)2111 内線6476  
振替東京4860番

### 第32回講演会および総会一般報告

1962年10月14日(日)から16日(火)にかけて茨城県柿岡において開かれた第32回講演会および総会は、初日52名、二日目73名、最終日70名の参加を得て盛会裡に終了しました。講演会、懇親会、見学、宿泊など若準備にいろいろと御世話下さいました地磁気観測所の方々に深く感謝の意を捧げたいと存じます。講演予稿集の残部が少々ありますので、御希望の方々には先着申込順に1部180円にてお送りいたします。

### 総会における主な議題および報告事項

1. 今年度末は委員改選時期ですので、全会員による選挙は今年度末までに済ませておき(時期は昭和38年1~3月に)新委員と現委員との間の業務引継ぎは春の総会の際またはその直後に行うことになりました。
2. 別刷交換会設置の件、本件は先に会報第2号において皆様にお知らせしてあります。総会での討論を参照しまして、ここに皆様に実施案をお知らせすることになりました。(後章に改めて記載してあります)
3. 外国会員会費改正の件、学会財政をいくぶんでも助けるために、現行の外国人会費年額3ドル、外国向けJ.G.G誌販売価格年額4ドルを値上げしてはどうかとの意見がありますので、総会で皆様の御意見をうかがいました。
4. 田中館賞は、今回は各会員からの推薦が締切日まぎにはありませんでしたので、受賞者はありませんでした。
5. 次回総会および講演会は、昭和38年春に東京大学にて開催することになりました。

(2)

## Journal of Geomagnetism and Geoelectricity

### 発刊状況

学会誌 Vol. XIV, No. 1. は既に9月中に発刊され、昭和37年度会費を納入された方々にはお送り申し上げ、柿岡にて御納入下さった方々にはその場でさしあげました。Vol. XIV, No. 2 はいまちようど発行されましたところで、昭和37年度会費を納入された方々には、この会報と共にお届けいたしております。No. 3 および No. 4 は今年度中に発行する予定です。めでたく居ります。これで今まで学会誌の発行が約1年遅れておりましたのを、皆様のお懇望と御援助により、やっと会誌発行を軌道にのせることができました。今後とも会員各位の積極的な御投稿を期待しております。実は会誌発行のおくれが取り戻されるに従って、学会会計はますます若しくなっていくのですが、今年度の実質が上れば来年度の文部省からの欧文誌出版援助も増額されるものと期待しております。学会会計のことにつきましては本号では詳しくは御報告いたしません。賛助会員を勧誘していただくなりして会員の皆様の御協力をいただければ幸甚と存じます。

### 新入会員紹介

会報第2号でお知らせ致しましてから後に、本日までに正会員になられた方々は下記の通りです。(敬称略)

沢田	宗久	(東京大学、理、地球物理)
櫻岡	勉	(地磁気観測所)
今	実	(地磁気観測所)

これで、現在本学会は、国内会員280名、外国会員19名、計299名と存じますが、この数の中には会費長期滞納会員も相当数含まれております。

### 別刷交換会設置についてのお知らせ

先に会報第2号で紹介しておきました別刷交換会設置案が柿岡における総会での検討を経て、いよいよ発足させることになりました。以下に著きます要項を御参照の上、入会希望の方々は早速所定の手紙をとりつけて下さい。

1. 各研究者が各個に論文別刷を交換する手間を省き、しかも別刷交換を促進するため、本学会員有志で別刷交換会を設置し学会事務局が運営の面倒を見る。
2. 別刷交換会加入希望者は、諸経費として年額500円を納入する。毎年度初めに、その年度の加入希望者を募る。年度途中でその加入は認めない。

い。

3、毎年度初め、その年度における別刷交換会加入者名簿を作成し、各加入者に若干部づつ予め配布しておく。

4、配布したい別刷をお持ちの加入者は、加入者名簿を利用して配布したい研究者の名に適切な印をつけ、配布指定リストに、所要部数の別刷を添えて、学会事務局に送る。(別刷配布部数にはなんらの制限はなく、原着者が提供できるだけで結構です。別刷配布先指定は一切原着者の自由です。また扱う別刷はいかなる研究報告誌に発表されたものでも、また未発表プレプリントでも結構です)

5、学会事務局では各加入者から寄せられましたものを、適当な時期(たとえば2月に1度)に、各原着者が希望される通りにまとめて各加入者に発送する。別刷交換会加入者以外の方々への配布はお取次ぎ致しかねます。

以上のような趣旨および方法で別刷交換会を充足させてみることにいたしました。毎年度切替時に新年度における加入希望者を募る建前ではありますが、今回は事務取扱いの経験を積む必要もありますので、昭和38年度末まで有効な資格を有する加入者(但し会費は500円のまき)を募集することに致します。

本会は論文別刷をいただくのではなく、互いに交換することを目的としていますので、その趣旨に沿いうる応募希望者の方々は、会費500円を添えて来る、12月10日までに学会事務局に加入御申込み下さい。

#### 学会事務局からお願い

昭和37年度会費未納の会員は、なるべく早く会費を適当な方法にて御納入下さい。会費領収の折には、J.G.G.誌 Vol. XIV, No.1 および No.2 を早速お届け致します。

下記の学会誌バックナンバーの在庫が全くなくなりました。これらのバックナンバーは注文があるたびにマイクロフィルムをつくって出しています。もし学会員の方々が下記学会誌をお持ちでしかも御不要な方々がおありでしたら適当な価格(1冊につきその年度の会費の半)で引取らせていただきたいと思います。御提供いただくに際しましては、郵送途中での損傷がなるべくないようにしていただければと存じます。品切れの号は現在のところ下記のとおりです。

Vol., VIII, No.3 (1956)

(4)

Vol. IX, No.1, No.2 No.3 (1957)

XI. No.2 (1959), No.3, No.4 (1960)

XII. No.1 (1960) No.2, No.3, No.4 (1961)